



ゆうすい

ふれあいネットワーク

社協だより

令和7年2月15日発行

編集・発行

社会福祉法人 湧水町社会福祉協議会

本所：TEL75-2200 FAX75-2756

事業所：TEL54-1699 FAX74-4980



福祉作文発表



表彰



記念公演「たけちゃん一座」



第20回 社会福祉大会

令和7年ご挨拶

社会福祉法人湧水町社会福祉協議会
会長 竹 畑 國 輝



平素より社会福祉協議会の事業推進に温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年、少子高齢化の急速な進行や生活様式の変化、地域のつながりの希薄化などの社会の変化に伴い、地域住民の福祉に対する需要は益々増大かつ多様化し、地域福祉の推進組織である、私ども湧水町社会福祉協議会においては、利用者本位の福祉サービス提供が求められる中、様々な事業を展開しているところであります。何より大事なことは、住み慣れた地域の中で安心して暮らせる社会の実現に向けて、地域福祉を担う関係機関と連携し、地域の実情に即した福祉活動を積極的に推進することを目指して参る所存であります。

令和6年度につきましては、高齢者訪問給食サービス事業を吉松地区・栗野地区2ヶ所で実施することで、これまで以上に多くの方々にサービスを提供できるようになりました。また、令和6年7月には湧水町から委託を受けて、湧水町成年後見センターを開設し、広報活動や相談業務を行うなど新たな事業に取り組んでおります。

今後、福祉だけでなく様々な分野で、制度の見直しや新たな取り組みがある中、これらの変化や動きをしっかりと見極め、多様化する住民ニーズに対応できるように努めて参りたいと考えておりますので、皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申しあげましてご挨拶といたします。

社会福祉協議会では、「令和6年能登半島地震災害義援金」及び「令和6年能登半島大雨災害義援金」を受付しています。皆様から頂いた心温まる義援金は、日本赤十字社鹿児島県支部を通して被災者の皆様へお届けいたします。引き続き皆様からの温かいご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

《令和6年能登半島地震災害義援金》

総額 **716,224円** (令和7年1月31日現在)

《令和6年9月能登半島大雨災害義援金》

総額 **100,926円** (令和7年1月31日現在)

【受付期限】 令和6年能登半島地震災害義援金・・・令和7年12月26日（金）まで
令和6年9月能登半島大雨災害義援金・・・令和7年12月26日（金）まで
(延長されました)

【受付窓口】 社会福祉協議会（シルバーケアセンター）
よしまつふれあいの家（吉松小学校正門横）

《令和6年度共同募金実績》

本年度も10月1日より「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに赤い羽根共同募金運動が展開され、町民の皆様の温かいご理解と、自治会の役員さん等、多くの方々のご協力により、多くの募金を頂くことができました。衷心より感謝申し上げます。

一般募金

実績額 2,354,914円

戸別募金

1,515,500円
大口募金 497,379円
(順不同、敬称略)

大山工務店、藤垣工務店、栗野建設業協同組合、水窪工務店、山下組、藤井建設、成相組、県酪農協栗野支所、恒岡運送、二ツ葉認定こども園、三石建設工業、北原組、南九州沖縄クボタ栗野営業所、鹿軽量、北進運輸、九州CIC研究所、松川自動車、橋本自動車、橋産業、成和、前田医院、田中工業、ライセンサー脇岡、ヘアアトリエKirico、サウンド田中、竹崎建設、上野工務店、竹崎建

具店、ナンエイ設備、湧水運輸、北始良森林組合、上野木材、中島測量設計、くりの物産館、西自動車整備工場、幸田オート商会、かがやき保育園、本山機動、三州衛生公社、松林組、幸和会、勝栗燃料、上原歯科医院、湧水町商工会、ニシキ、食事処大明、鹿児島信用金庫栗野支店、ワークショップゆうすい、あいらの森ホスピタル、志まや商事、ギフトショップたやま、林はきもの店、たかはら、もとせ、田中歯科医院、リビング亀沢、エディオン湧水店、西書店、あきららの店、老谷家具店、尾方屋、大和商会、赤谷自動車、重信組、JAあいら吉松地区本部、平原組、円乗寺こども園、岩重、郷原金物店、タマヤ薬品、パナン山下、ヨシムラ、吉松自動車、

石本鉄工、川添簡易郵便局、吉村農園、中村歯科医院、永井自動車整備工場、森豆腐店、ヨリタ設備、林内科医院、Aコープ吉松店、丸三土建、吉松物産館、あら木里山の麵処と和布あそび、東郷商会、エディオンでんきのオオタオ、境田ストア、鶴丸、般若寺温泉、第一企画、つつはの園、永野工務店、般若寺簡易郵便局、岡田建設、ひらしまクリニック、はにわ、山下事務機、新園ストア、内村工務店、松永スタジオ、心光保育園、新園自動車、くりの実の家、轟簡易郵便局、JAあいら栗野地区本部、吉松温泉ビジネスホテル、三和自動車、原口温泉、モリ工業

ご協力ありがとうございました



● 学校募金

吉松小学校 94,462円

栗野小学校 29,130円

幸田小学校 3,319円

轟小学校 877円

上場小学校 2,637円

吉松中学校 11,166円

栗野中学校 41,667円

● 職域・団体募金

235,559円

湧水町老人クラブ連合会

117,459円

社会福祉法人智光会職員一同

7,100円

湧水町民生委員児童委員協議会

41,000円

湧水町役場親和会

50,000円

社会福祉協議会職員互助会

20,000円

● 個人ネット募金

12,000円

● その他

14円

歳末募金

実績額

809,480円

● 戸別募金

606,200円

● 大口募金

102,621円

● 個人大口募金

41,000円（敬称略）

渋谷 公雄

16,000円

今和泉 文俊

10,000円

山崎 容子

10,000円

山下 利文

5,000円

● 卓上募金

11,789円

● 福祉バザー

47,870円

歳末募金配分内訳

● おせち料理

310名

● 洗濯消毒サービス

（布団・毛布・こたつ布団等）

149名 289枚



栗野小学校



栗野中学校



吉松中学校

皆様から寄せられた赤い羽根共同募金・歳末募金は このような事業に使われています。

独居老人誕生日訪問事業



80歳以上の一人暮らしの方を対象に、誕生日を迎えられる月に、職員が訪問しお花をプレゼントしています。

地域によっては、民生委員の方や地区の福祉部長さんにもご協力を頂きながら配布しています。

洗濯乾燥消毒サービス

歳末助け合い事業の一環で、令和6年10月、80歳以上の独居老人や寝たきり者の方々149名で289枚の寝具などの洗濯乾燥消毒サービスを実施しました。

利用者の各家庭を、職員と業者が一軒ずつまわり、ふとんや毛布を預かり、後日きれいになった寝具をお届けすると皆さんに大変喜んで頂きました。



ひとり金婚者の祝い



結婚後ひとりで50年を迎えられた方を対象に「ひとり金婚者の祝い」を呼び掛け、ご参加頂いた方に写真館で記念撮影を行って頂き、後日写真と記念品（急須セット）、祝詞、菓子をお祝い品としてお届け致しました。

おせち料理配付事業

令和6年12月31日、民生委員の方々に協力を頂き、おせち料理を310名にお配りしました。

対象者は、寝たきり者及び80歳以上の独居老人（同じ自治会に子どものいない方）で、町民皆様から寄せられた歳末募金を使用して実施しました。

一人で、年末年始を迎えられる対象者の方々にも、ひと声添えたおせち料理に大変喜ばれていました。



その他にも社会福祉大会、ボランティア活動事業、地域食堂（子ども食堂）、地域福祉部助成金、ボランティア協力校（各小中学校）助成金、各種団体助成金など様々な事業に使われています。

第20回

湧水町社会福祉大会

令和6年12月7日、湧水町シルバーケアセンターにおいて、第20回湧水町社会福祉大会を開催しました。

大会には、各福祉関係者や地域の役員の方々等70名余りの参加がありました。式典では、永年にわたり民生委員児童委員として地域福祉発展のために尽力されている方や地域で定期的にふれあいいきいきサロンを開催し、サロン活動を通して地域福祉の向上に貢献されているサロングループ4団体、福祉作文コンクールにおいて最優秀賞に選



ばれた児童・生徒2名が表彰されました。その後、福祉作文発表では最優秀賞に選ばれた小学校の部、吉松小学校3年 有田百恵さんの「夏のボランティア体けん活動」と中学校の部、吉松中学校2年 上原つばみさんの「手話で通じるもの」の発表があり、素晴らしい作文に参加者も感心されていました。また、記念公演では、霧島市の福祉関係者で結成された「たけちゃん一座（代表 竹下智行氏）」の皆さんによる劇を披露して頂きました。「おたがいさま」を家族や地域の人に囲まれてゝを演

題に、高齢者の認知症について家族と地域がどう向きあっているべきか、笑いあり涙ありの内容で、参加者の皆さんにも大変喜んで頂きました。劇には、社協職員3名も役に扮し会場を盛り上げていました。



※当日、表彰を受けられたのは、次の方々です。（敬称略）

（表彰の部）

高城 豊美

（民生委員児童委員）

梅ちゃんサロン（西下場）

（ふれあいいきいきサロン）

代表 梅古川 美代子

加治屋地区サロン

（ふれあいいきいきサロン）

代表 末廣 なり子

般若寺地区サロン

（ふれあいいきいきサロン）

代表 山崎 容子

二渡地区サロン

（ふれあいいきいきサロン）

代表 重信 照美

（福祉作文コンクール最優秀賞）

小学生の部

吉松小学校3年 有田 百恵

中学生の部

吉松中学校2年 上原 つばみ

夏のボランティア体けん活動

吉松小学校 三年 有田 百恵



わたしが、夏休みに一番さんかしてよかったと思ったことは、はじめてさんかした夏のボランティア体けん活動です。去年亡くなったおじいちゃんが使っていた車いすの事や、テレビでたまに見るひさい地のたき出しに、少しきょう味があつたからです。

さいしよは、少しドキドキしたけれど、友だちもいっしょだったので安心してさんかすることができました。

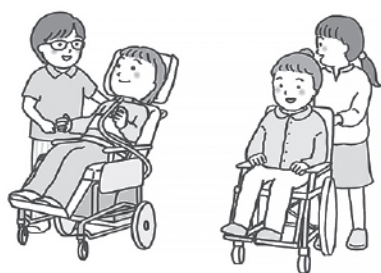
たき出しでは、ひじょう食の体けんて、先生方が、ふくろに入つたお米をにて、じゅんびしてくださり、ひじょう食のカレーをかけるだけでした。味は、中からをえらびましたが、からくもなく、いつも家で食べるカレーより具があまり入ってなかったけれど、おいしかったです。

車いすの活動では、お友だちといっしょにこうたいでのったり、おしたりする体けんをしました。おす時は、だんさや坂道などをおす時にちゅういすることを教えてもらいました。お友だちがのつた車いすをおす時は、まず速さやブレーキのかけかたにちゅういしながらおすことができました。だんさでは、タイヤを少し持ち上げて、坂道の下り方では後ろ向きになりました。思ったより、だんさや坂道などちゅういする事も多く、

のっている人の気持ちを考えながらやることがむずかしかったです。

お年よりの体けんでは、し界や体にしかためのサポーターをつけて、つえを持って歩きました。思ったより前がぼやけていたりして見えにくく、足は曲げて歩いたりなど、いたくて思うように動かせないので、すごく不自由だと思いました。

この体けんを終えて思ったことは、もう少し早くに体けんしていたら、亡くなったおじいちゃんに何か手つたえる事があつたのではないのかなという事です。でも今、おばあちゃんがいるので、少しお年よりのふ自由さもわかったので、わたしにできることを少しでも見つけて、手助けできるように心がけていきたいと思います。



手話で通じるもの

吉松中学校 二年 上原 つぼみ



私はこの夏、手話の講座を受講しました。手話は、聴覚障害を持った人とのコミュニケーション手段として多くの場で用いられているものです。私がこの講座に行こうと思ったきっかけは、小学校の頃にお世話になった図書室の先生が誘ってくださったことです。私自身手話を学びたいと以前から思っていました。

講座が始まると、最初は手話の基本的な動作や指文字から学びました。知っているものの中にはありましたが、ほとんどが初めて習うものでした。印象に残ったことがあります。それは、手話の中で「顔の表情」も大事だということです。言葉だけでなく、顔の表情や身体の動きも言語として機能していて、これが感情を正確に伝える手助けをしていました。表情や身体の動きを使って歌も手話で歌いました。少し難しかったのですが、手話で歌も歌えることができるのだなということを知れました。

また、手話を学ぶことで、多様性への理解が深まったことも大きな収穫です。聴覚障害をもった方々がどのように日常生活を送っているのか少し知ることができました。手話が単なる言葉の代わりではなく、聴覚障害をもった方々にとってとても大事なものののだと分かりました。これは、私自身や他の人に

とっても大事なものです。言葉が無ければ通じあうことも難しくなります。手話はそのためにあるものでした。

今後は、もっと手話ができるようになって聴覚障害を持った方々との交流もしてみたいと感じています。そして、手話を学ぶことの重要性が世の中に広まったらいなと思います。手話を学ぶことで、私は新しい視点を獲得することができました。この知識を活かし、コミュニケーションのはばを広げていくことが、今後の私の目標です。手話は単なる技術ではなく心と心を結ぶためのかけ橋であると感じています。手話を学ぶことは、私にとってとても貴重な体験でした。多くの人々と手話を通じて話せることを実現できるようにまた手話の講座に行きたいです。



しまつ ふれあいの家 福祉バザー



令和6年11月17日（日）によしまつふれあいの家（吉松小学校正門横）で、福祉バザーを開催しました。町民の皆さまに各家庭にある不用の日用品（未使用品）などを提供していただき、それを販売した収益を利用して、生活困窮者等に対する食糧・物資の支援や地域食堂事業の充実を目的にしたもので、当日は50名程の来訪者がありました。

また、来訪者にはぜんざいを振る舞い、皆さまに喜んでいただきました。

福祉バザーについては、コロナ禍によりしばらく休止しておりましたが、引き続き開催していきたいと思っておりますので、今後ともご協力の程よろしく願いいたします。



売り上げは**47,870円**でした。



※物品については、いつでも受付いたしますので、ご提供いただける方はご連絡ください。

例：タオル・石鹸・洗剤・お米・缶詰・レトルト食品・雑貨品・手芸品など（☎0995-75-2811）

幸田地区福祉大会



令和6年11月20日、幸田コミュニティセンターで65歳以上の方や地区役員の方々を対象に「幸田地区福祉大会」が開催されました。午前中は、保健師・看護師による健康チェックや包括支援センターによる健康講話や体操、その後社会福祉協議会によるレクリエーションがあり参加者の方々の笑顔が多くみられました。

高齢者訪問給食サービス事業 臨時職員(パート)募集中！

- 【勤務内容】 (1) 勤務日 年末年始を除き14日以内の勤務(土日祝祭日勤務あり)
(2) 勤務時間 午前8時30分～午後5時15分
(3) 勤務内容 給食の調理、利用者宅への配食、食器の洗浄、調理室内外の清掃
(4) 勤務地 いきいきセンターくりの郷(栗野地区)
シルバーケアセンター(吉松地区)
- 【雇用期間】 採用日より令和7年3月31日まで(1ヶ月間の試用期間後1年ごとの更新になります)
- 【賃金】 日額7,393円 ※賞与、通勤手当有り
- 【賃金支払日】 翌月5日支払い
- 【保険制度】 雇用保険制度・労災保険制度有り
- 【募集人数】 若干名
- 【面接日時】 本人と日程調整し行います
- 【応募資格】 概ね58歳までの健康な方で、自動車普通免許取得者
- 【申込方法】 社会福祉協議会(湧水町シルバーケアセンター内)に備え付けの臨時職員採用登録申請書に必要事項を記入のうえ、社会福祉協議会へ申し込みください
※詳しくは社会福祉協議会(75-2200)までご連絡ください。



給食サービス事業配食 ボランティア募集中！



給食サービスでは、現在5名の方に配達ボランティアとしてご協力頂いています。ボランティアの方の訪問を楽しみにされている対象者も多く、この機会にボランティア活動を希望される方、是非、ご連絡下さい。

(曜日) 月曜日～金曜日

(時間) 午前10時30分～正午頃まで
午後3時30分～午後5時頃まで
(活動回数等はお相談ください)

門松づくり

年末、吉松地区老人クラブ連合会の方々が、シルバーケアセンターに門松を作って下さいました。材料もすべて自分たちで用意され、手際よく短時間で素晴らしい門松が出来上がりました。お陰様で、新たな気持ちで新年を迎えることが出来ました。ありがとうございました。

